

# 平成 29 年度 事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

志リレーション Lab

## 1 今年度の方針

今年度は、事業運営のための正会員や賛助会員の募集、周知啓発、個別支援に注力を傾けた。また、各事業の実施にあたり、利用者のニーズに応じた事業かどうかの調査研究も行い、効果的な実施方法を決めて、取り組んだ。

## 2 各事業の実施状況報告

### (1) 学習等支援事業

今年度は、38 名に対し約 206 回の学習等支援を行った。38 名のうち 7 名は、支援を終了している。終了理由としては、大学受験が終わったため(2 名)、学校での支援体制が整ったため(小中高各 1 名 計 3 名)、成人で就労支援へ移行したため(2 名)である。31 名は現在も支援が続いており、内訳は、学習支援(5 名)、生活スキル向上のための支援(1 名)、学習支援+生活スキル向上のための支援(5 名)、学習支援+生活スキル向上のための支援+他団体との連携(20 名)となっている。

### (2) 相談支援事業

今年度は、随時相談を受け、相談者のニーズに応じた支援(家庭教師派遣、ソーシャルスキルトレーニング(SST)など)を行った。

相談を受けた 3 団体(にいはまローズ(8 回/年)、八幡浜市教育支援室(1 回/年)、にこまる(八幡浜親の会)(6 回/年))と、生徒 1 名(29 回)に対し SST を行った。

また、SST の方法を知りたいとの問い合わせがあり、堀江病院に行き、説明会を行った。現在、松風病院(四国中央市)からも問い合わせがあり、次年度実施予定のにいはまローズの SST を病院スタッフ 4 名が見学することになっている。

### (3) 保護者支援事業

今年度は、相談を受けた保護者のニーズに応じて、支援を行い、必要に応じて、他団体との連携を行った。連携先は、担当主治医、学校教員(小中高)、松山市教育委員会、愛媛県教育センター、ひまわり園、子育て支援センター、松山リハビリテーション病院等で、登下校の支援・支援会議参加・情報共有を行った。

#### (4)QOL 向上(イベント企画・運営)事業

今年度は、予定していた土曜夜市に、4名(発達障害の診断のある成人)が参加。団体スタッフ1名が引率をし、4名のニーズに合った活動を楽しんだ。また、1名(発達障害傾向の成人)に対し、買い物や食事を楽しむといった活動も行なった。

#### (5)バリアフリー文具・自助具等貸出販売事業

今年度は、個々のニーズに合わせたバリアフリー文具・自助具等の貸出として、学習支援を行っている3名に iPad を貸し出した。

#### (6)啓発活動

松山市市民活動推進補助金を利用し、8月18・19日に南雲明彦氏の講演会を開催した。2日間でのべ70人参加。

愛媛大学からの委託費でホームページを作成し、公開した。講演会の参加やホームページの閲覧により、家庭教師や相談の依頼が数件あった。

9月2日のリレーフォーライフ(がんへの理解や支援を願い、患者や家族らが交代しながら昼夜歩き続けるチャリティーイベント)に4名参加。

11月23日のあいにくまつり(愛育幼稚園(砥部町)のバザー)に2名参加。

詳細については、志リレーション Lab までお問い合わせください。